

### 須恵剣友会、小学生の部9連覇達成

4月29日(月)、第35回ライオンズ旗争奪少年剣道大会(花鶴福岡ライオンズクラブ主催)がクロスバールこが(古賀市)で行われ、糟屋・宗像地区の小・中学生440人が参加しました。

小学生の部団体に、須恵剣友会AとBの2チームが出場。両チームともに他の強豪を倒し、決勝戦は両チームでの対戦となりました。この結果、Aチームが優勝し、須恵剣友会は、第27回大会から9連覇の偉業を達成。また、中学生の部団体では3連覇を果たすなど、好成績を残しました。

小学生の部に出場した早田日路斗くん(第二小5年)は、「来年も優勝して10連覇できるよう稽古を頑張ります。」と決意を新たにしていました。



快進撃を続ける剣士たち

### 貝原猶さん、故百田一三さん 旭日単光章を受章

旭日単光章とは、長年にわたって地方自治や社会福祉などで活躍して、その功績を認められた人に贈られる叙勲です。この旭日単光章を貝原猶さん(佐谷区)と故百田一三さんが受章されました。

貝原猶さんは、昭和50年から昭和62年までの12年間、須恵町議会議員として住民の福祉と町政の発展に尽力されました。この間、福祉委員会委員長として自然食普及センターの開設などに取り組み、町民の健康づくりのために尽力されました。また、建設産業委員会委員としては、昭和48年7月に発生した豪雨災害の復旧や住民生活の利便性・安全性の増大に努めるなどに大きく貢献されました。このような生活環境を向上させる事業の推進に尽力し、積極的に促進したことにより、今日須恵町が掲げる「水と緑と光の町」の礎を築かれました。

故百田一三さんは、昭和54年から平成11年まで20年間、須恵町議会議員として住民福祉の向上と町政の発展に尽力されました。この間、総務文教委員会委員長として平成元年に児童生徒数の増加から須恵東中学校を須恵中学校より分離開校、平成5年の須恵第三小学校開校など、基礎学力を身につける教育拡充事業および生涯教育の発展に尽力されました。また、建設産業委員会委員長として、産業経済の基盤となる道路交通網の整備に着目し、平成10年10月の県道志免須恵線開通などに尽力されました。



貝原猶さん



故百田一三さん

### 健やかな子どもの成長を祈願

4月23日(火)、24日(水)の両日、守母神社大祭が行われました。地元の甲植木区の女性たちによる接待などが行われ、訪れた人たちは、子どもたちの健やかな成長を祈願していました。

「守母神社の伝説」は、町の無形民俗文化財に指定されている悲話です。16世紀半ば、高鳥居城落城の際、乳母の慈照天眼禅尼が杉弾正の子を連れて落ちのびる途中、岩陰に潜んでいたところ、子の泣き声で見つかり捉えられてしまいます。首をはねられる際、「自分が殺されても世の中の泣く子の味方となり守り続ける。」と誓ったと伝えられ、乳母の霊を守母様として祀り、夜泣き止めや育児の神社として信仰を集めています。



多くの人が参拝に訪れました

### 盛大につつじまつり開催

4月29日(月)、恒例の第10回「商工つつじまつり in 須恵」(須恵町商工会主催)が健康広場で開催されました。

この日は絶好のお祭り日和。会場には町内外から約4000人が訪れ、ステージでは、和太鼓演奏やマジックショー、大抽選会などが行われ、会場はとても賑やかな声で包まれていました。

一方、皿山公園では約3万本のつつじが見ごろを迎え、会場からシャトルバスなどを利用して多くの人が訪れました。見ごろのつつじは、訪れた人の目をとめて喜ばせ、公園内には写真を撮る人が多くみられました。(関連ページは20ページ)



ステージ前は、この人だけ

### こちら也大盛況! のっこらしよ

5月12日(日)、須恵軽トラ市「のっこらしよ」がカルチャーセンター前駐車場で行われました。

8回目を迎え、恒例となった「のっこらしよ」会場には、今回も農産物や出店など多くの店舗が集結。朝9時の開始から多くの人が訪れ、たくさんの商品を買って求めています。また、須恵中学校吹奏楽部の演奏もあり、会場はとても賑やかな雰囲気に包まれていました。

この日は母の日。店舗で買い物をした人に対し、カーネーションかエコバックと引き換えることができる券が配布されました。配布場所には長蛇の列ができ、瞬間に配布物がなくなるなど、ささやかなお母さんへのプレゼントを求めています。



どれをプレゼントにしようかな